Creative Enzymes®

ヒト由来の異型イソクエン酸デヒドロゲナーゼ1 R132H、組換え品

Cat. No. NATE-1649

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	細胞質IDH 1の異は、原発性のヒト脳腫瘍において一般的な特徴です。IDHのアルギニン132（R132）は、異なるアイソフォームの間で高度に保存されており、最も一般的にヒスチジンに異します。IDH1 R132Hの異は、R（-）-2-ヒドロキシグルタル酸（2HG）の蓄積を引き起こし、これは性脳腫瘍のリスク加と相関しています。
別名	イソクエン酸脱水素酵素 [NADP] 細胞質異体、R132H; IDH 1 R132H

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	添加物を含む凍結乾燥粉末
製剤化	1mM DTT、10% グリセロールを含む20 mM Tris-HCl バッファー（pH8.0）で。
分子量	50.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>500 mU/mg
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.4の条件下で1.0 μmoleのNADPHをNADP+に換する酵素の量です。

使用法とパッケージング

再構成	30%グリセロール/水中で、2 mg/mlの濃度で凍結乾燥したタンパク質を再懸濁し、その後、将来の用途でさらに希釈します。

保管・発送情報

保存方法	凍結乾燥したタンパク質は、-20°Cで1年間安定しています。再構成した後は、アリコットを-20°Cで保存してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。